

# 選挙出前授業

5月29日(火)6時間目、神河町選挙管理委員会の方々をお招きして、3年生対象に選挙に関する授業を実施しました。



実際の選挙で使用する記載台で生徒が模擬投票をしている様子です。投票用紙も本物と同じ材質を用意して頂きました。



投票箱も実物です。投票前には中の確認も正しく行いました。生徒の皆さん、18歳になったら選挙権を行使しましょう！



## 神崎高生が町長選模擬投票

神崎高校(神河町福本)で20日、町選挙管理委員会による選挙の出前講座があった。3年生約70人が、講義と模擬投票を通じて1票の大切さを学んだ。町選管によると、昨年の衆院選の町内投票率は68・51%で、18・19歳は50%だった。

選管職員は、18歳になれば投票のほか、応援する候補者への投票を知らずに呼び掛ける選挙運動もできることを紹介。会員制交流サイト(SNS)への投稿はできるが、電子メールでの選挙運動は立候補者本人にしか許されていない点などを注意喚起した。

その後、生徒らは教諭2人を立候補者に見立てた仮想町長選で模擬投票し、計数機を使った厳密な開票作業も体験した。子育て支援を熱く訴えた教諭が観光促進派に圧勝した。水田昂希君(17)は「選挙の流れがよく分かって、身近に感じた」と話していた。(井上太郎)



模擬投票に臨む生徒たち＝神河町福本

神戸新聞(平成30年5月30日付朝刊)に掲載されました。